

# 現場探訪

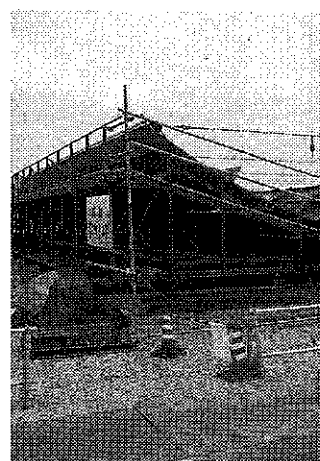
製作工程を説明する  
三木所長



11年度からはMC1-4のは、一体化したセルを海  
 整備も本格化する見通 底の地盤中に直接打ち込  
 し。超大型船が入港でき む「根入れ式鋼板セル工  
 の岸壁や、世界最大級の 法」を採用。現地ヤード  
 でセルを製作するなど、 金額約20億円、工期08年  
 海上作業の簡略化で工期 5月～09年3月）を担当  
 短縮が図れ、耐震性にも する東亜建設工業。MC 量はセル6函と架台のほ  
 優れる。 3で用いる計16函の鋼 かな、今後製作する6函分

関東地方整備局発注の 板セルのうち、6函の製  
 「横浜港南本牧地区岸壁 作と合わせて、建設地近  
 (約16区) (耐震) 鋼板 くに専用架台など作業ヤ  
 セル製作他工事」(請負 ード(敷地面積約3・5  
 金額約20億円、工期08年 珍)を整備する。

## 国内最大水深の 岸壁築造へ



曲台で弧

の組 した  
うた  
管理  
た。上  
上部  
時監  
書で  
を引

## 覆工コンクリ

# 繊維シートで剥落防止

## 新設トンネルに初適用

## 佐藤工業

佐藤工業は5日、繊維シートを使った覆工コンクリートはく落防止技術を、新設の山  
 岳トンネルに初適用したと発表。繊維シートとコンクリートが一体化した構造にす  
 ることで、覆工コンクリートの施工目地付近のひび割れを防ぐ。経年劣化などでコンク  
 リートがはがれても、繊維シートがコンクリート塊を引き留め、落下を防止するとい  
 トンネルの維持管理や補修費の軽減に役立つ技術として、金沢工業大学環境・建築学部  
 環境系環境土木工学科の木村定雄教授や西日本高速道路会社と共同で開発していた。

この技術は、覆工コン のアーチ部分に、耐アル する。特殊な施工機械は  
 クリートを打設する際、 カリガラス繊維やアラミ 不要で、繊維シートと一  
 用いる長さ10倍前後のト ド繊維などのメッシュ状 体化した構造にすること  
 ンネル断面形状の移動式 のシートを敷設してか で、コンクリートがはく  
 型枠(セントル)両端部 ら、コンクリートを打設 落しにくくなるという。  
 トンネルの二次覆工コ ンクリートは、セントル  
 に設けた約50坪四方の開 口部から打設するのが一  
 般的だ。このため、アー

千天端部分の打設は、コ ンクリートの充てん度合  
 いや締め固め具合を目標 で確認できず、特に施工  
 目地付近が弱点になりや すいという課題があっ  
 た。新技術の適用で、こ うした弱点部分のコンク  
 リートはく落を長期間防 ぐことができる。  
 仮にコンクリートがは かれることがあっても、  
 繊維シートが持つ引き留

め性能が、コンクリート 塊の落下を防ぎ、供用中  
 のトンネルであっても損 害が発生しない。長期間  
 にわたるコンクリートの 劣化防止は難しいのが現  
 実で、トンネルの品質向 上に加え、万が一に備え  
 るリスク軽減・防止技術 が求められていた。  
 適用したのは、西日本 高速道路会社発注の「東  
 九州自動車道中山工事」 場所は宮崎県門川町。概  
 要はトンネル2カ所、土 工、橋梁下部工など。工  
 期は06年12月19日～09年 6月5日。施工は佐藤工  
 業・若築だ。

山岳トンネル覆工コン クリートを繊維シートな  
 どでの補修・補強する方 法は実用化されている  
 が、新設トンネルへの適 用は初めて。

キャタピラーシャパン の長期化と部品需要の増  
 加が見込めるため、キャ タピラーグループの各拠  
 点で回収・再生した部品 (再生品) を効率良くユ  
 ーザーに提供できる体制 を整え、部品再生事業の  
 売上高を09年度に30億円 (08年度5億円) に引き  
 上げる。再生品は新品の 約6割の価格で提供す

### 部品再生

# 売上高6倍

## キャタピラー専用



建設系廃棄物 24時間リ、  
 ユーワの  
 産業廃棄物の中間処理  
 などを手掛けるユーワ  
 (埼玉県所沢市、徳原昭  
 子社長) は5日、東京都  
 江東区で建設を進めてい



トラ ラ

ことが押し来  
ことミ。従  
現。した。ン  
ショは標準

1万6600  
万6600円

507・7194



ミ/GX

打機。MEと  
20-MEと本  
けるこ。体  
縮。できる。  
GX120  
ピンで打  
つけ圧を

・66・1159

約6割の価格で提供す